

摂南大学開学 50 周年記念展

「50 年の歴史を振り返って」

摂南大学は、2025 年に開学 50 年を迎えました。これを記念して本学開学からの道のりを辿る展示企画を開催します。本学には、開学当初からの各種の印刷物や写真、実験器具やその成果物など教育・研究にかかる多くの貴重な史資料が保管されています。それらの一部を展示し伝統ある摂南大学の 50 年の歴史をご紹介します。

会期

【常翔歴史館常設展示室：大宮キャンパス】

2025 年 10 月 3 日（金）～10 月 16 日（木）※ 土日祝日休館

11：00～11：30、12：30～17：00

【摂南大学：寝屋川キャンパス 3 号館 1 階ラーニングコモンズ】

2025 年 10 月 27 日（月）～11 月 13 日（木）※ 11/9 は閉鎖日

9：00～17：00

【摂南大学：枚方キャンパス 8 号館 1 階談話スペース】

2025 年 11 月 25 日（火）～12 月 5 日（金）※ 11/30 は閉鎖日

9：00～17：00



1974 年 摂南大学設置認可内定



1975 年 開学当時の寝屋川キャンパス



1983 年 薬学部・枚方キャンパス開設

主催：摂南大学（大宮キャンパスのみ 共催：常翔歴史館）

ご挨拶

摂南大学が設置された1975年（昭和50年）は、1970年大阪万博が終了し、高度成長から安定成長へと社会が大きく転換する時期でした。工学部のみの単科大学としてスタートした摂南大学ですが、社会の変化に対応すべく、当初から総合大学化を目指していました。そして、7年後（1982年）には国際言語文化学部と経営情報学部の文系2学部、その翌年（1983年）には枚方キャンパスに薬学部を設置し、現在では関西を代表する総合大学として発展しています。50周年展示企画実行委員会では、摂南大学の50年の歩みを振り返るべく、各学部に残っている歴史的な資料を調査、収集してきました。今回その貴重な資料を、常翔歴史館、摂南大学寝屋川キャンパス3号館、枚方キャンパス8号館で巡回展示します。大学の設置を決定した当時の理事会決議録、摂南大学設置を報じた新聞、第1回摂大祭のパンフレットなどの歴史資料のほか、工学部や薬学部の開設時に使われていた古い研究装置や教育器具なども展示します。また、創設時から現在にいたる懐かしい写真も映示します。摂南大学の50年の歩みをご覧ください幸いです。

摂南大学農学部長・学長補佐

摂南大学50周年展示企画実行委員会委員長 椎名 隆

展示品のご紹介

1. 摂南大学の始まり「理事会議事録・決議録（写）」

昭和49年（1974年）6月5日、第5回理事会において、摂南大学を寝屋川キャンパスに設置することが全会一致で承認決定された。この決定を受け、7月1日には、事務局が学園構想委員会から摂南大学開設準備委員会へ移行し、急ピッチで開学のための準備が進められました。

2. 摂南大学の将来

現在のFLOWに当たる学校法人大阪工業大学学報（第233号・摂南大学開学特集号、昭和50年12月30日）に、摂南大の開学に尽力された藤田進理事長の寄稿「開学を待つ摂南大学」が掲載されました。開学の時点から、近い将来、学部を増設し、摂南大学を総合大学へ発展させる構想が明記されています。

3. 文部省からの認可証

昭和50年（1975）1月10日付けで、晴れて文部省（永井道雄文部大臣）から摂南大学設置の認可証が届きました。工学部1学部5学科、入学定員250人からのスタートでした。

4. 摂南大学歴代学長

初代学長 宮北敏夫先生から、12 代の現学長 久保康之先生まで、歴代学長は、時代や社会の変化に対応し、時には先導しながら、卓越した指導力で摂南大学を牽引されて来られました。

5. 学園生活への道標・学生便覧（1975 年）

開学初年度の「学園生活への道標」「学生便覧」。

「学園生活への道標」は、入学を控えた新入生やご父兄に対して、入学後の生活に対する心構えの糧となるように、「本学での学生生活」の一端を紹介した冊子です。学生便覧(A5 判 78 ページ)から始まり、時代とともに B5 判、A4 判と改編し、2025 年度からは当初の A5 判 (90 ページ) となり、コンパクトな様式に戻っています。

6. 大学要覧 昭和 51 (1976) 年度

開学当初の大学案内。当時はこじんまりした大学組織でした。掲載写真も時代を感じる髪型や服装の学生達で懐かしい様子です。大学への案内図は、手書きで作成されており、今見ますと味わいのある案内図です。

7. 摂南大学 1st「摂大祭」パンフレット

開学初年度の大学祭「摂大祭」のパンフレット。

1 期生の熱い思いが、摂大祭実行委員長の気概のある文面から伝わってきます。

3 日間に渡って、前夜祭、体育祭、文化祭を開催しています。

8. 活躍した学生 冬季オリンピックに出場した加納君

1988 年 2 月にカナダ・カルガリーで開催された冬季オリンピックに、工学部電気工学科の加納誠さんが出場しました。加納さんは、同年 1 月の全日本選手権大会では初優勝、2 月のオリンピックでは総合 17 位と活躍されました。

9. 摂南大学薬学部 薬剤師国家試験・合格

薬学部一期生の奮闘の結果、第 72 回薬剤師国家試験(1987 年)に卒業生全員が合格しました(合格率 100%)。この勢いは 2000 年 3 月まで続き、14 年間で 13 度全国トップという快挙となりました。

10. すももちゃんサイダー

2020 年度開設の農学部が開発したオリジナル製品です。枚方産のすももを使用し、農学部学生を中心に収穫やレシピ開発、ラベルデザインを行っています。香料・甘未を一切使用しない「すももちゃんサイダー」として、2021 年に完成しました。今では、枚方市のふるさと納税返礼品にも採用され、イベントや一部スーパーで販売されています。

11. 京田辺産クラフトビール

2021年より、農学部・国際学部共同研究プロジェクトと京田辺農福観光地域づくり協議会の地域連携事業で、明治時代に京都で栽培されていたビール大麦品種ゴールデンメロンを市内で栽培してクラフトビールを作る活動に取り組んでいます。2023年の試作ビール「KYOTANA BEER」、2024年産のビール「京 TANABEER おんごろどんセゾン」です。2025年度も継続製作中です。

12. 「初瀬姫」焼酎

地域と協働して実践的に学ぶPBL授業の学生が、サツマイモとみかんピールのお酒「初瀬姫」を、酒造会社八木酒造と協働開発しました。寝屋川市主催の「ワガヤネヤガワ・ベンチャービジネスコンテスト2018」で、グランプリを受賞し、「第38回寝屋川市農業まつり」で出店し販売しました。

13. 「守口門真 YEG×摂南大学」チームが「鳥人間コンテスト2019」に初出場

琵琶湖・松原水泳場（滋賀県彦根市）で開催された「Iwatani スペシャル第42回鳥人間コンテスト2019」で「守口門真 YEG×摂南大学」チームが滑空機部門に初出場しました。チーム初挑戦の記録は11.40mとなりました。いつの日か再挑戦を！

14. 全国ラグビー選手権大会初出場ベスト8の躍進！

摂南大学ラグビー部は、2006年に7年ぶりに関西大学ラグビーフットボールAリーグに復帰し、2008年12月には関西第5代表決定戦にも勝利し、悲願の「第45回全国大学ラグビーフットボール選手権大会」への初出場を決め、ベスト8進出の活躍を見せてくれました。

15. 経済学部「第13回日銀グランプリ」で最優秀賞

2017年に、日本銀行本店で開催された「第13回日銀グランプリ～キャンパスからの提言～」決勝大会で、経済学部の植杉大教授ゼミ生が最優秀賞を受賞しました。同グランプリは日本銀行の主催で、「わが国の金融への提言」を課題として、若い発想で金融・経済・情報社会の変化などの観点から日本の金融に関するアイデアを競うものです。決勝大会では全国39大学、計112編の応募から選ばれた5チームがプレゼンテーションを行いました。

16. 日経BPムック（2006-2007）、摂南大学 by AERA（2012）、non-no×摂南大学（2016）雑誌に特集された摂南大学

- ・「変革する大学」シリーズ日経BPムック
- ・摂南大学とコラボしたAERA
- ・女子に人気の雑誌non-noともコラボしています。

17. 摂南大学 総合体育館竣工時 緞帳絵皿

昭和 59 年（1984 年）2 月に寝屋川キャンパス総合体育館が竣工しました。竣工を記念してこの緞帳絵皿が作成されました。今春、緞帳は 41 年ぶりに新調されました。

18. 摂南大学 絵葉書「キャンパス八景」

昭和 62 年（1987 年）年に絵葉書「キャンパス八景」が作成されました。当時の摂大の建物や、学園内のセミナーハウス「白馬山の家」「白浜海の家」なども写っています。

19. 摂南大学 開学からの写真

開学当時の約 50 年前の空撮写真を見ますと、キャンパス内の建物だけでなく、周囲の環境も今と異なる様相です。他にも既に取り壊された建物など、懐かしい写真など色々ありますのでお楽しみください。

20. 摂南大学工学部建築学科「手回し計算機 HL-21」

日本計算器株式会社（現・ビジコン株式会社）製の手回し計算機 HL-21 です。

中央の数字レバーを合わせ、右のハンドルを回して計算しました。現在の計算機から比べると性能に雲泥の差があります。

大阪工業高等専門学校から本学へ引き継がれました。

21. 摂南大学工学部土木工学科 トランシット NC- (T) -9

建設プロジェクトの現場では、必ず「測量」という作業が行われます。この作業は、どこに道路や橋を建設するか、という大切な位置決め役割を担っており、現場で最も早く行われる作業です。トランシットは測量で使用される機器で、主に角度を測ることに利用されます。展示品は 50 年前の測量学実習で使用されていたものと思われます。現代の測量機器では軽量化・高機能化・自動化が進んでいますが、原理や現場での役割は今も昔も変わっていません。

22. 摂南大学工学部電気工学科 MLF 型磁束計

この磁束計は端子に接続されたサーチコイル内を通過した全磁束数とサーチコイルの巻数との積を直接指示するもので、その単位はマクスウェル・ターンです。

大阪工業高等専門学校時代から引き継がれたものです。

磁束変化により発生した微小電流を測定するための検流計は大変繊細で、正確に水平に設置する必要があり水準器と調節ネジ付き 3 点支持足を備えています。

23. 摂南大学工学部電気工学科 直流機の始動抵抗器

この装置は、直流機を安全に始動させるための「始動抵抗器」です。直流機には、小型では模型用の DC モータ、大型では電車などに使われるものがあります。直流機を電源に直接つないで始動すると、大きな電流が一気に流れて機器に大きな負担を与えてしまいます。そこで、始動時には抵抗を直列に入れて電流を制限し、回転が上がるにつれ

てレバーを動かし、徐々に抵抗を減らしていく仕組みが用いられていました。現在では、このような手動式の装置はほとんど使われておらず、自動制御や半導体技術を利用した装置に置き換わっています。

24. 摂南大学工学部土木工学科レベル K-10

「測量」では、距離や角度に加えて高さを測ることも大切になります。古来は静かな水面の高さ基準にして高低差を測っていました。この原理を利用したのがレベルという機器です。展示品は50年以上前に大阪工業高等専門学校から引き継がれたものと思われれます。望遠鏡のなかには気泡管が格納されており、調整すると望遠鏡の前後を水平に比較できます。その結果、前後での高さの違いを測ることが可能になります。高さを決めるための基準となる点（日本水準原点）からこの作業を繰り返すことで、さまざま地点の高さが明らかになっています。

25. 摂南大学看護学部 静脈路確保困難モデル LM-086

静脈路確保の練習を行うためのモデルです。模擬血管を交換することで、細い血管、深い血管など多様な患者に対応する練習を行います。展示品は、看護学部開設時の学生実習で使用していたものです。

26. 摂南大学理工学部機械工学科 「AQ フリッカー疲労検査器」

30Hz（1秒間に30回）を超えるような高速で点滅する光を、目で見ると点滅していると思われる限界の周波数をフリッカー値といい、その値は疲労の蓄積とともに減少するという性質があります。しかし、フリッカー値は検査対象者が目で見ると判断するため、検査に時間がかかることや検査結果が疑わしいといった問題がありました。AQ フリッカー疲労検査器（Accurate & QuickFlicker Tester）は、人の疲労を簡単に、素早く、高精度に評価できるように開発されたものです。その測定方法について特許が認められ、現在、サイバークラフト社から市販されています。

27. 摂南大学薬学部 錠剤磨損度試験機

錠剤の機械的強度は、薬局方における基準の1つとされています。この装置では、透明なドラムに錠剤を入れ、薬局方に基づいて回転させることで、サンプルの破損や質量減少を測定します。展示品は、薬学部開設時の学生実習で使用していたものです。

28. 摂南大学薬学部「製丸器」

手動式の丸薬製造器具です。漢方薬などの制作に古くから使われてきたものです。展示品は、薬学部開設時の学生実習で使用していたものです。

29. 摂南大学工学部建築学科「プラニメーター」

プラニメーター（Planimeter）は、地図など平面上の図形の輪郭をなぞることにより、その面積を計測する装置です。面積計とも言います。建築では建物や部材に地震など

によりかかった荷重とその変位との関係からその面積（エネルギー）を算出する時に荷重-変位関係を示した図面から求めていました。今では、エクセルから精度よくデジタル値を求めることができるようになっていました。現在では、精度が悪いとして利用されなくなったプランメーターですが、当時の面積算定の方法としては効率的であり、幅広く利用されていました。

30. 摂南大学工学部建築学科「ダイヤルゲージ」

ダイヤルゲージは、短い直線距離を測定する測定器で、スタンドに固定して変化量を測定します。建築では柱や梁部材の載荷時の変化量（変位）を計るのに使用します。ダイヤルゲージの仕組みは、スピンドルの直線移動量（棒状の変化量）を歯車などによって機械的に拡大して指針の回転量に変え、目盛板上でその変位量を目視で読み取る測定器です。長針は1回転未満から数十回転するものがあります。標準タイプの測定範囲は1 mm～10 mmです。現在では、デジタル測定器が主流で、0.001mm や 0.0005mm の高い精度で測ることができます。

31. 摂南大学工学部電気工学科「照度計」LX-3・標準電球

「照度計」は、私たちが感じる明るさをルクス(1x)という単位の数値で表示する測定器です。照度は感覚的な量なので人間の目の特性を考慮して測定されます。一方、「標準電球」は、光の基準を作るために使われる特別な電球です。定められた条件でどのくらいの光を出すのかがあらかじめわかっているので、照度計の正しい測定値を確認するときの基準となります。照度は光源の数や配置にはもちろんのこと、床天井や壁の色にも影響を受けます。私たちが建物の中で快適に過ごすための照明設計には欠かせない道具なのです。基本の形は大きく変わっていませんが、今はデジタル化されて扱いやすくなっています。

32. 摂南大学農学部 腸内フローラ検査サービス「Flora Scan」

摂南大学農学部井上亮教授の腸内細菌叢測定技術を移転した株式会社フローラディスカバリーは、摂南大学発ベンチャーです。京都府立医大との共同研究で構築した日本人腸内フローラデータベースを用いた個人向けの腸内フローラ検査サービス（Flora Scan; 株式会社プリメディカより提供）の分析を担当しています。枚方市のふるさと納税返礼品にも採用されています。

お問い合わせ

摂南大学学長室庶務課 TEL 072-839-9100

e-mail SETSUNAN.Shomu@josho.ac.jp

